

- 1 だいちくは、ぎようめに、学年・学校・組・名まえは、ぎようめに書き、文しうはぎようめの二ばんめのマスから書きましよう。
- 2 だんらくのはじめは、一字きけて書きはじめ、だんらくごとぎようをかえましよう。
- 3 詩や文は、どのぎようも二ばんめのマスから書き、あたまをそろえましよう。

(月 日 曜日)

白谷うん水きエウ

安房小 3年 田中 月乃

わたしは、たんじんのさめしま先生みたい
 な引つして来た人に、屋久島の白谷うん水き
 ょうを教えてあげたいです。

白谷うん水きエウは、屋久島の北東ぶの、
 みやののうら集らくから車で登山口まで行き、
 そこから登り始めます。

白谷うん水きエウで、わたしが一番きにい
 てるところは、太こ岩の上から見るけしきで
 す。

太こ岩とは、登山口から二時間くらい登った
 ちよう上の大きな岩です。

春は、その岩の上から山ざくらが見えます。
 夏は、こい緑の葉は、きらきら光る川が

見えます。
 かん光客や、屋久島の人たちは、山ざくらを
 見るために春に登る人が多いです。

でもわたしは、きらきらしている夏の白谷う
 ん水きエウがすきです。春は、センクのさく

- 4 とは、それぞれ一字にきえて、マスの中に書きましよう。
- 5 おはなししたところは、「」の中に入れてぎようをかえて、おはなしだけを書きましよう。

(不許複製)



- 1 だいたくは、一きようめに、学年・学校・組・名まえは二きようめに書き、文しうは三きようめの二ばんめのマスから書きましよう。
- 2 だんらくのはじめは、一字きけて書きはじめ、だんらくことにきようをかえましよう。
- 3 詩や文は、どのきようも三ばんめのマスから書き、あたまをそろえましよう。

～ 月 日 曜日

らがきれいですが、空気がくすんでいて、
 しきが白くぼく見えます。
 夏は、空気がきれいで太陽の光が強くて、川
 や木の葉っぱがきらきらしているので、た
 さんの人に見てもらいたりです。
 ほかにも、白谷うん水よきうの井力よはあり
 ます。
 たとえば、太こ岩まで登ると中のコケの木木や
 水のみ場、大きくてきれいな川です。
 とくに、雨がふった後のコケはとてきれい
 です。山の水がのめるのも屋久島の大きなみ
 力なので、このきれいな木木をずつとまもつて
 いきたいです。

- 4 と、は、それぞれ一字にかえて、マスの中に書きましよう。
- 5 おけなしたところは、「」の中に入れてきようをかえて、おけなだけを書きましよう。

(不許複製)

